

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和4年1月11日(2022.1.11)

【公開番号】特開2021-183203(P2021-183203A)

【公開日】令和3年12月2日(2021.12.2)

【年通号数】公開・登録公報2021-058

【出願番号】特願2021-140581(P2021-140581)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 1 2 C

A 6 3 F 7/02 3 1 2 Z

【手続補正書】

【提出日】令和3年11月17日(2021.11.17)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

遊技盤の手前側に透明板が配置されており、遊技球が前記遊技盤と前記透明板との間の遊技領域を上流から下流に向けて流下する遊技機において、

前記遊技盤は、

接触する遊技球の前記遊技領域における奥行き方向の位置に応じて接触後における遊技球の移動態様に異なる影響を与えることが可能な所定変更手段を備え、

前記所定変更手段は前記遊技球の半径よりも長い平面部を備えて、接触後における遊技球の移動態様を左右方向にのみ振り分けることが可能で、樹脂で形成されるものであり、前記遊技領域に設けられていることを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 6】

上記課題を解決すべく請求項1記載の発明は、遊技盤の手前側に透明板が配置されており、遊技球が前記遊技盤と前記透明板との間の遊技領域を上流から下流に向けて流下する遊技機において、

前記遊技盤は、

接触する遊技球の前記遊技領域における奥行き方向の位置に応じて接触後における遊技球の移動態様に異なる影響を与えることが可能な所定変更手段を備え、

前記所定変更手段は前記遊技球の半径よりも長い平面部を備えて、接触後における遊技球の移動態様を左右方向にのみ振り分けることが可能で、樹脂で形成されるものであり、前記遊技領域に設けられていることを特徴とする。